

第 16 回 西周シンポジウムの開催について 「哲学思想史から見た西周」

西周（1829-1897）は津和野藩医の家に生まれ、オランダに留学したのち、江戸時代末から明治にかけて西洋学術を導入し、日本の学問、文化の革新のために大いに力を尽くした思想家です。

本学は大学憲章の前文で、西周が標榜する「“純理の学”から「実践の学」にわたる諸科学の統合」を理念に掲げ、大学の知をもって地域社会への貢献に取り組んでいます。その一環として、「島根県立大学西周研究会」は平成 14 年の設立からこれまで、地元津和野町の皆さまとともに、西周の思想と業績を学びつつ、毎年シンポジウムを開催してきました。

今年は「哲学思想史から見た西周」をテーマに下記のとおり開催します。

また、西家当主の許可を得て、シンポジウム会場において、未公開の西周肖像画（写真撮影可）の展示を行います。

記

1. 日 時

平成 30 年 12 月 1 日（土） 13:30～16:20

2. 会 場

津和野町コミュニティセンター大集会室（島根県鹿足郡津和野町後田口 6 6 - 2）

3. 共 催

島根県立大学・津和野町

4. 内 容

①あいさつ 津和野町長 下森博之 氏

②講 演 「日本の哲学思想における西周の意義」

東京大学名誉教授 黒住真 氏

③第 1 回西周賞授賞式

・審査講評 東京大学名誉教授／印刷博物館館長 樺山紘一 氏

・受賞者講演 韓国 東義大学校人文大学日本語学科助教授 藤野真拳 氏

④その他

5. 参加方法

申込み不要。どなたでも参加いただけます。

東京鉄道
蒸気車
待合之図

第16回

西周

シンポジウム

主催：島根県立大学
津和野町



立斎広重《東京沙留鉄道館蒸気車待合之図》/国立国会図書館デジタルコレクション

テーマ

[哲学思想史から見た西周]

プログラム

〈講演〉

- ・黒住真[東京大学名誉教授]
「日本の哲学思想における西周の意義」

〈第1回西周賞授賞式〉

- ・受賞者：藤野真拳[東義大学校(韓国)助教授]
「西周の法思想と教思想
—「思慮」ある「激怒」が蠢く秩序—」
- ・審査委員長講評 印刷博物館 館長 樺山紘一
- ・受賞者記念スピーチ

◎お問い合わせ：島根県立大学企画調整室 ☎ 0855-24-2201

◎申込不要 津和野町教育委員会(郷土館) ☎ 0856-72-0300

日時 平成30年12月1日(土)

13時30分～16時20分

会場 津和野町コミュニティセンター

大集会室 (島根県鹿足郡津和野町後田口66-2)